

駿河ほねほね団活動報告

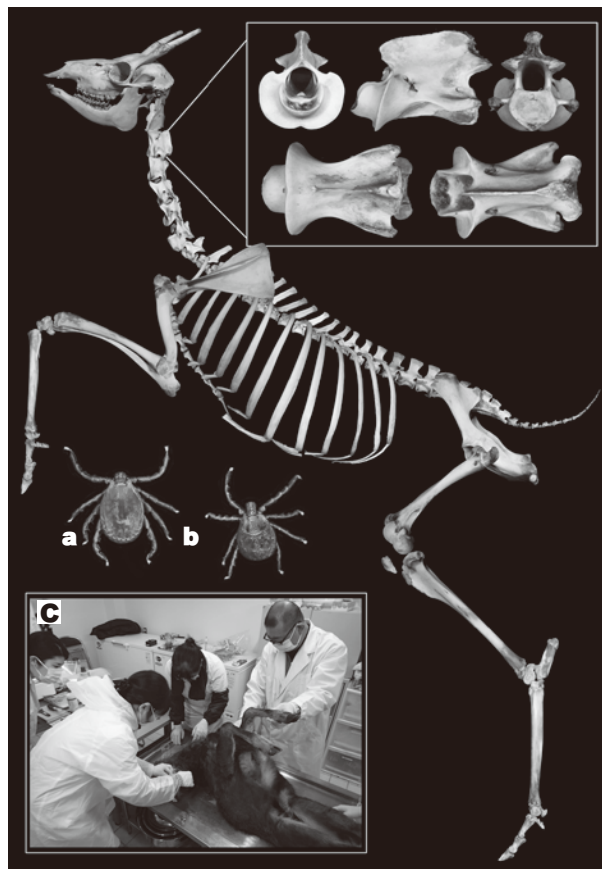
佐々木彰央

今回は、新たにニホンジカの骨格標本作製しました。作製に用いたシカは富士山周辺で2016年1月に捕獲された雄の1個体です。角は枝分かれせず1尖で、上顎の犬歯が萌出途中、仙椎は癒合途中の若い個体です。

シカの体には複数のダニがまとわりついており、全員でダニを採取するところからはじめました。採取されたダニは高田氏により種類が同定され、オオトゲチマダニとヒゲナガチマダニの2種類であることが分かりました。

ダニを一通り採取し終わったところで、シカの毛皮を剥ぎ取り、ロースとヒレ肉を外し、肉は自宅で野菜炒めにして美味しくいただきました。次に、前脚と後足を外し、さらに頭骨と頸椎、胸椎、肋骨、腰椎、寛骨、尾椎に分けて徐肉し、最終的には全ての骨を分離しました。

各骨は前回の会報でもお伝えした通り「骨の検索システム」構築のため、前・横・後・腹・背方向からデジタル一眼レフカメラで撮影し、デジタル画像として整理をしました。実例として、図の右上に第2頸椎の拡大図と各方向からの写真を掲載しました。さらに、左側面から撮影した全ての骨の画像をPhotoshopで繋ぎ合わせ、図の中央で跳ねるシカの骨格標本作製しました。このように分離した状態の骨格でもパソコン内で簡単に組み立てることがで



Photoshopで組み立てた富士の若い雄ジカとダニ。
a: オオトゲチマダニ, b: ヒゲナガチマダニ。
c: シカの体からダニを採集している様子

きます。

今後もシカについては、雄と雌の幼獣、成獣、老獣を揃えたいと考えています。

図書紹介

ダニのはなし 一人間との関わりー

島野智之・高久元〔編〕朝倉書店 定価(本体3000円+税)

紹介者: 高田 歩

2016年1月20日、待ちに待ったダニに関する入門書的な新書が発刊されました!!

本書はダニに興味を持った一般の方、ダニと深くかかわる業務に携わる方、ダニの研究を志す方など幅広い読者を想定して編集されています。かくいう私もコラムを一つ担当させていただきました。また、生々しい写真や愛嬌のあるイラストが各所に散りばめられており、ダニの世界に浸りやすくなっています。

すでに本書をご存知な方も、まだご存知なかった方も書店や図書館にてお手に取っていただければと思います。

